

第8回 縄文楽検定（初級編） 解答集

問題	解答	問題	解答	問題	解答
1	b	21	b	41	b
2	b	22	c	42	a
3	b	23	a	43	c
4	a	24	c	44	a
5	b	25	a	45	b
6	c	26	b	46	b
7	d	27	a	47	b
8	d	28	c	48	a
9	b	29	d	49	c
10	b	30	c	50	b
11	c	31	c		
12	b	32	a		
13	c	33	c		
14	b	34	a		
15	b	35	d		
16	d	36	a		
17	b	37	b		
18	c	38	c		
19	a	39	c		
20	a	40	b		

(解説)

出題に用いたテキストとその略号は、以下のとおりです。

- ①<縄文楽検定テキスト>「縄文文化と火焰土器」(2008) = 「I」
- ②新潟県立歴史博物館編「火焰土器の国新潟」(新潟日報事業社 2009) = 「火焰」
- ③<縄文楽検定テキストⅡ>「信濃川火焰街道 縄文の旅」(2011) = 「Ⅱ」

なお、問題文中、「火炎土器」「火焰土器」「火焰型土器」「火炎土器様式」などの用語が出てきますが、すべて使い分けをしています。

くわしくは、テキストⅠの9頁などをごらんください。

それでは、主な問題とその解答について簡単に解説します。

問1 I-20頁、火焰-32-37頁にあります。最古の火炎土器は器高が低く口径と器高の比率が1対1あるいはそれ以上の鉢形土器が目立ちます。c、dは最古(古期古段階)、aは古期新段階、bは新期古段階です。

問2 Ⅱ-11頁にあります。cは長岡市枅倉遺跡の火焰型土器の枅倉式Ⅰ段階、aは津南町沖ノ原遺跡の枅倉式Ⅱ段階、dは三条市長野の火焰型土器と同時期の北陸の様相が見られる土器です。

問3 1万5千年前、氷河期の旧石器時代が終わり、温暖な間氷期が始まり、環境の変化に伴い、人間の生活が変化し縄文時代が始まりました。

問4 縄文時代は縄文時代前期が一番暖かく、その後だんだんと寒くなっていったと考えられています。温暖化で海水面が高くなった「縄文海進」の時期にあたります。

問5 aは三条市吉野屋遺跡、cは長岡市栃倉遺跡（栃尾地域）、dは長岡市馬高遺跡で出土している他の土偶。どれも三角形の顔に平らあるいはくぼんだ頭頂部という特徴をもつ河童型土偶ですが、bミス馬高土偶には残念ながら耳にあたる部分が残っていませんでした。ちなみに頭頂部～胸部までで約18cmのミス馬高土偶に比べ、cの土偶は実際には上半身のみで5～6cmの小さな土偶です。

問6 縄文時代晩期に九州に米作り、青銅器、鉄器が伝わり、弥生時代が始まりました。

問7 I-10頁など。鶏のトサカに似ていることから、この名称が付けられました。

問8 aは長岡市立科学博物館の初代学芸員中村孝三郎さんです。bは近藤勘治郎さん（近藤篤三郎さんの父）、cは近藤勘太郎さん（近藤篤三郎さんの祖父）です。

問11 d押圧剥離（おうあつはくり）は石の剥片（大きな石から割り出した破片）の縁に鹿の角などの先端をひっかけ、下に押しつけて細かく剥がしていく技法です。石鏃や石匙など、石の剥片からつくりだす石器に多く使用されています。正答率が低い問題でした。

問12 I-16頁、火焰-147頁。縄文時代にはロクロがなく、窯ではなく、野焼きされていたと考えられています。

問13 青銅器と稲作は弥生時代から見られます。縄文時代に現在のところ文字は発見されていません。縄文文化は無文字文化だったと考えられています。

問21 I-22頁。硬質で磨くと光沢が生じる石材です。

問22 I-22頁。和田峠は黒曜石の産地、最上川流域は頁岩の産地として有名です。姫川流域は蛇紋岩の産地であり、ヒスイの産地としても有名です。

問23 敲石は木の実を磨りつぶしたりする石器、石錘は魚捕りの網などに付けた石のおもり、石槍は槍先に付けた石器です。

問27 シカとイノシシは縄文時代の遺跡から出土している獣骨の90%以上を占めます。しかし動物形土製品の題材にはイノシシが多くシカはみられません。イノシシは生命力が強く一度に多くの子を産むため、生命力や多産の象徴として崇められていたと考えられます。dのナウマンゾウ・オオツノシカは旧石器時代の主な獲物です。

問29 aは出土した縄文時代の人骨からわかります。bやcは土偶にみられる表現からそう想定されています。

問31 火焰-42-49頁。Cは秦の始皇帝の時代、紀元前215年頃です。日本は弥生時代にあたります。

問32 bは東京都世田谷区のお寺で、招き猫で有名です。cは小千谷市にある真言宗智山派の古刹で、慶応4（1868）年に長岡藩の河井継之助と新政府軍の岩村軍監と会見した場所です。Dは神奈川県鎌倉市にある大覚寺派の古刹で源義経ゆかりの「腰越状」で有名です。

問36 津南町沖ノ原遺跡は縄文時代中期に営まれた遺跡で国の史跡に指定されていますが、この遺跡から出土した火焰型土器の一部は県指定文化財となっています。

問39 aは福島県檜枝岐村と群馬県片品村を結ぶ峠、cは三条市（旧下田村）吉ヶ平と福島県只見町叶津を結ぶ峠、dは魚沼市（旧小出町）と福島県只見町子倉を結ぶ峠です。

問41 岡村太郎さんは火焰型土器を見て「なんだコレは！」と叫んだと言われています。